

# ステージサンド仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成18年 6月【初版】

平成23年11月【改訂】

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg 角缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg 角缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg 角缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上り塗材	20kg ペール缶	約 11 m <sup>2</sup> /缶
骨材	JF-3	寒水石(白竜)3 厘	20kg 袋入り	約 40 m <sup>2</sup>
	JF-65	ステージサンド	3kg 袋入り	約 23 m <sup>2</sup>

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・仕上げゴテ (ステンレス製の腰が柔らかいコテ)

## <下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <ステージサンド仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
 3時間以上48時間以内

### 3. 主材 下塗り

配 合	JQ(W)-650シリーズ	20kg
	JF-3	10kg
	清 水	2~2.5ℓ
塗布量	約1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後 出た鋸波を消すように平滑に押さえる。 (図-1)	

JQ(W) - 650 - 42 - 01  
(JQ(W) - 650 ステージサンド)

夏期 8時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

4. 主材 上塗り

配 合	JQ(W)-650シリーズ	20kg
	JF-65	3kg
	清 水	3~3.5ℓ

塗 布 量 約 1.0kg/m<sup>2</sup>

施工道具 金ゴテ

金ゴテにて均一に塗布する。

- ・ 材料を混練する際は、ジョリパット→JF-65の順に入れ、清水はJF-65全体に染み渡る様に加えてから攪拌を行う。
- ・ 調合した材料を配る時、コテのエッジをたて、ステージサンドをすり潰しながら薄く配って、扇状に塗りパターン付けをする。(図-2)

20~30分程度後

5. 仕上げ

- ・ 仕上ゴテにて平滑に仕上げる。

<施工のポイント>

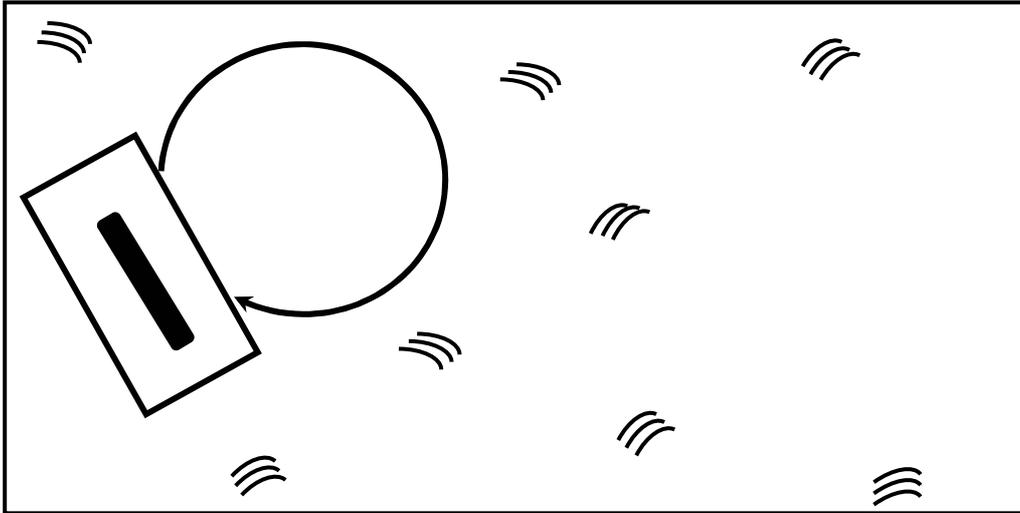


図-1

・下塗りは薄く塗布し、全体を骨材が転がるように荒らしていき、その後、平滑に押さえる。

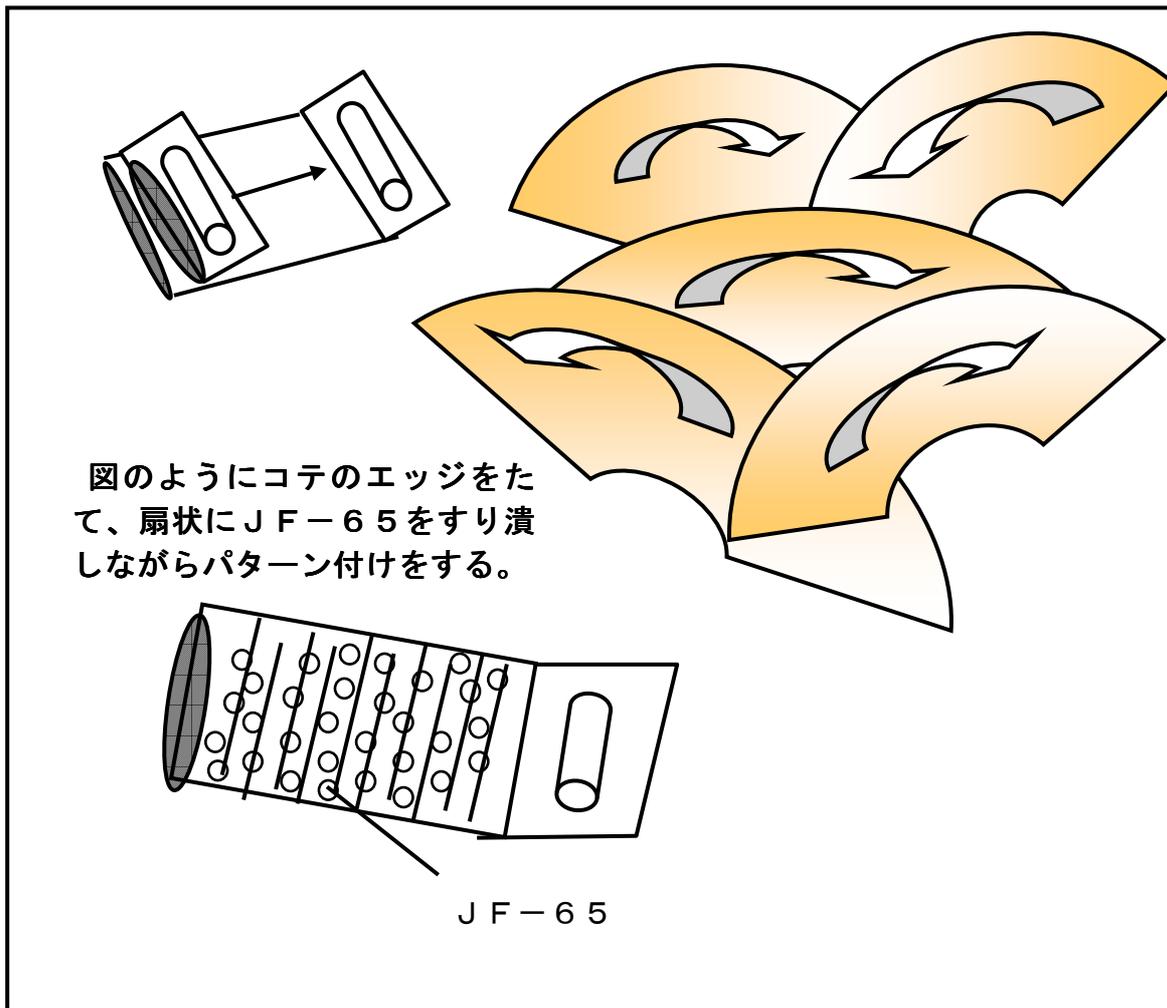


図-2

## <施工の注意事項>

- ・ 下塗りは厚付けにならないように薄く塗ってください。  
(厚いと仕上がりが悪くなります。)
- ・ 仕上げは全体的にぼかした壁面となるよう、仕上げゴテは何度も動かす。  
(骨材が潰れたすじが残らないよう注意する。)
- ・ コテを一定方向(縦又は横方向)に動かして骨材をすりつぶさないようにする。  
(模様がそのまま残り仕上がりが悪くなります。)
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上げ、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ この仕上げには天然石を使用しているため、見本と色目が異なることがあります。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認を頂いた上で施工を進めてください。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上